

**MDC-70 / MDC-70T / MDC-74**

**Multi Device Controller**

**メニュー 説明書**



【改定履歴】

No	発行日	バージョン	内容
1	2015 年 7 月	0100-01-57	取扱説明書と MENU(詳細)を分けました。
2	2016 年 9 月	0100-01-5A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Collection 機能 VDCP のポート ID 選択 No を追加 MENU 17301~17304</li> <li>・GPI 機能追加 MENU 48605~48713</li> <li>・VDCP コマンドタイミングパラメータの追加 MENU 3150B</li> </ul>
3	2017 年 3 月	0100-01-5C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VTR プロトコルの追っかけ再生機能を追加 MENU 17301~17304 に”F-VTR-a **” MENU 30907 パラメータ値変更 MENU 30D17 F-PLAY パラメータ追加</li> <li>・電源投入時 CUE データを削除する機能を追加 MENU 27402</li> <li>・GPI 出力の誤記訂正</li> </ul>
4	2017 年 3 月	0100-01-5D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Bank キーに VAR 追っかけ再生機能追加 MENU 27811/3090B</li> <li>・GPI に電源投入時の初期値設定を追加 MENU 45A00</li> </ul>
5	2017 年 7 月	0100-01-60	<p><b>アップデート用 ※1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下のアップデートを行う時は一度このバージョンに上げて下さい。</li> </ul>
6	2017 年 7 月	0100-01-61	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続再生機能に VTR プロトコルによる簡易再生機能を追加</li> <li>・Safe Update 機能</li> <li>・GPI に入出力のスルー機能を追加</li> </ul>
7	2017 年 9 月	S0100-01-62	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LAN 制御プロトコルを追加 MENU 32000~3200B</li> </ul>
8	2017 年 12 月	S0100-01-67	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊制御の追加 MENU30807/30702/30808</li> </ul>
9	2018 年 1 月	S0100-01-6C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Diff(再生 TC の相対値)表示に対応 MENU 29101</li> <li>・60frame 素材を 30frame 表示に換算して表示する機能を追加 MENU 30208</li> <li>・GPI パルス出力対応 MENU 33301~33307</li> </ul>
10	2018 年 12 月	S0100-01-72	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Protocol 選択に Musashi-a Eth を追加 ※2</li> <li>・SIO に LAN 併用機能追加 MENU32007</li> <li>・SIO LAN 機能を16台まで使用可能な様に拡張 MENU3200D</li> <li>・SIO LAN に調整パラメータ追加 MENU32012,32013</li> <li>・LAN PortNo 追加 MENU51208~5120B</li> <li>・LAN UDP のオフセットを追加 MENU5121A,5121B</li> </ul>
11	2019 年 4 月	S0100-01-77	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VDCP のポートID設定可能範囲を拡張</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・Bank 登録したファイルの名称表示対応</li> <li>・UpDate機能の高速化(※次回の UPDATE より反映)</li> </ul>
12	2019 年 6 月	S0100-01-78	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BlankKey 機能に SyncTopPlay 機能を追加 MENU27812/27813</li> <li>・GPI 機能に BlankKey 選択を追加 MENU4860B/4860C/4860D</li> <li>・特殊用途 MENU30D1B/31006/33216/30911/30912 機能追加</li> </ul>
13	2019 年 10 月	S0100-7A-02	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Collection メニューの表記変更</li> <li>・MENU27601-4 Bank 機能設定をシンプルに変更</li> <li>・MENU2820C/D/E 特殊用途</li> </ul>

※1. Safe Update 機能とは、VerUP 中に電源を落とされ、動作しなくなった時に復旧する事が出来る機能です。

※2. BlkMgc-a Eth&Sio 機能はオプションライセンスが必要です。

購入時に弊社営業にご相談下さい。

**【目次】**

1. はじめに .....	6
2. MENU 操作 .....	6
2.1 MENU のバンク設定 .....	6
3. MENU 一覧 .....	7
4. お問い合わせ .....	36

## 1. はじめに

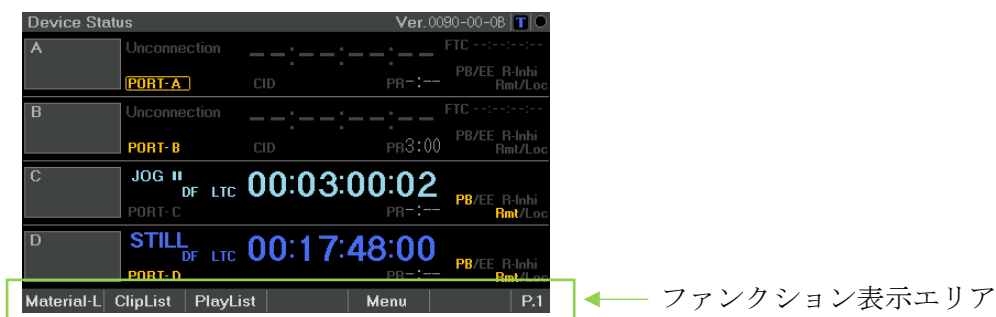
“MDC-70”“MDC-70T”“MDC-74”をご使用頂きありがとうございます。

本書は MENU の詳細を記載致します。取扱説明書と合わせてご確認ください。

## 2. MENU 操作

MENU 設定を行うにはファンクション表示エリア内の”Menu”を選択し、

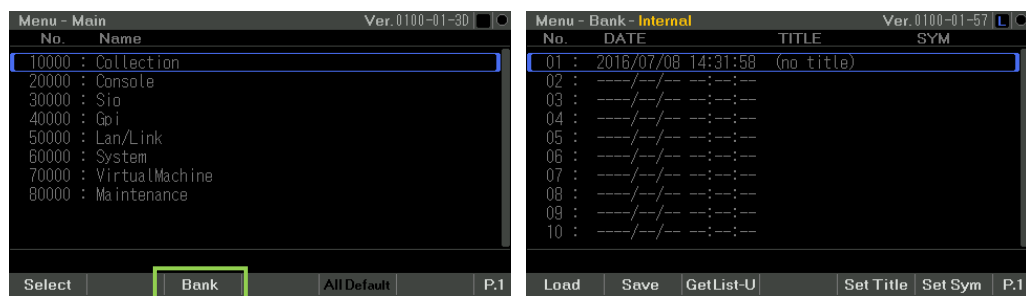
上下▲と+(F4) –(F3)キーで選択を行い Set(F1)キーで登録を行います。



### 2.1 MENU のバンク設定

メニューの内容はバンクまたは USB メモリに保存、読み出しをすることが可能です。

最大保存数 99



※USB メモリに保存を行う時は FAT フォーマットでご使用下さい。

### 3. MENU 一覧

---

#### ○ 共通事項

- ・設定値の変更は、“(F4)+”、“(F3)-”“SET” 操作で行います。
- ・下線が引いてある設定値は、Default の設定です。
- ・“\$ ~”の項目は、電源再起動(ResetMDC)でその設定が反映されます。

#### ○ メニュー区分

Main メニュー画面では、メニューの区分を選択します。

10000 : Collection は詳細な MENU 内容を一括で設定する事が可能です。

例えば、VDCP プロトコルと VTR プロトコルを切り替える場合、SIO メニューの中で複数個所の設定を行わなければなりません。本 MENU を使用すると詳細な設定を行わなくても、一括で設定を行う事が可能です。Collection 設定で Free と設定すると一括で設定を行わずに個別に設定する事が可能です。

20000 : Console は Blank ボタンや Preroll 時間等の設定変更が可能です。

30000 : Sio はポート毎の設定やポート毎の GPI 設定が可能です。

40000 : Gpi は本機のボタンの機能の一部を GPI に割り当てる事が可能です。

50000 : Lan/Link は UnitID 番号や IP アドレスの設定変更が可能です。

60000 : System は内部時計の時間設定やスクリーンセーバー機能の時間設定が可能です。

70000 : VertualMachine は複数台の同時使用時の調相パラメータの設定です。

○ “1000:Collection” 関連

・簡易設定を行います。

Collection		
項目番号	項目名	内容
17000	\$CutomPtn	特定案件用設定。 0000:標準動作設定（通常時左値固定）
17002	\$PcSysPtn	コントローラモードと PC モードの切替えを行います。 1)Free : (前回の設定を保持します) 2)StandAlone : 通常モードで使用します。(VTR 制御等) 3)MvxMode-A : SlaveMode (Mvx) 4)PcMode-A : SlaveMode A 5)PcMode-B : SlaveMode B 6)PcMode-C : SlaveMode C ※SlaveMode で起動すると画面は SlaveMode と表示され、PC 等と通信が確立すると、アプリケーション依存の画面に切り替わります。 ※通常モードに戻すには ESC+SFT ボタンを押しながら電源を投入して下さい。投入後に本 MENU を StandAlone に戻して下さい。
17100	\$Port-Coupling	PORT の使用方法を設定します。 1)Free : 前の設定を保持します 2)Default : VTR 単体制御及び同時制御を行う時に選択します。 3)Coupling12: 1,2 PORT をカップリング機能で使用する時に選択します。 4)Coupling34: 3,4 PORT をカップリング機能で使用する時に選択します。 5)Coupling12/34: 1,2 と 3,4 PORT を選択しカップリング機能で使用する時に選択します。 6)Coupling1224 : 1,2 と 3,4 PORT を同時にカップリング機能で使用する時に選択します。
17100	\$Port-Default	PORT の使用方法を設定します。  Yes / No
17101	\$Port-Coupling12	PORT の使用方法を設定します。 1,2 PORT をカップリング機能で使用する時に選択します。
17102	\$Port-Coupling34	PORT の使用方法を設定します。 3,4 PORT をカップリング機能で使用する時に選択します。
17103	\$Port-Coupling12/34	PORT の使用方法を設定します。 1,2 と 3,4 PORT を選択しカップリング機能で使用する時に選択します。
17104	\$Port-Coupling1234a	PORT の使用方法を設定します。 1,2 と 3,4 PORT を同時にカップリング機能で使用する時に選択します。
17301	\$Port1-Protocol	PORT 1 で使用するプロトコルを選択します。 1) Free : (前回の設定を保持します) 2) Default (VTR) : デフォルト(初期設定値)(※VTR プロトコルに設定) 3) Through : (PC モード用) 【VTR プロトコル】 4) VTR-a : VTR プロトコルに設定します。 【VTR プロトコルの追っかけ再生指定】 5) F-VTR-a R1 6) F-VTR-a R2 7) F-VTR-a R3 8) F-VTR-a R4 9) F-VTR-a P1 10) F-VTR-a P2 11) F-VTR-a P3 12) F-VTR-a P4



		<p>13) F-VTR-a R/P</p> <p><b>【XDS VDCP プロトコル】</b></p> <p>14) XDS-a VDCP R1 : VDCP プロトコルの REC ポートに設定します。</p> <p>15) XDS-a VDCP P1 : VDCP プロトコルの PLAY ポートに設定します。</p> <p>16) XDS-a VDCP R1/P1 : VDCP プロトコルの REC と PLAY を1ポートで切り替えて使用します。</p> <p><b>【XDS VTR プロトコル】</b></p> <p>17) XDS-a VTR R : VTR プロトコルの REC ポートに設定します。</p> <p>18) XDS-a VTR P : VTR プロトコルの PLAY ポートに設定します。</p> <p>19) XDS-a VTR R/P : VTR プロトコルの REC と PLAY を1ポートに設定します。</p> <p><b>【PSW/SRMASTER VDCP プロトコル】</b></p> <p>20) SR1K-a VDCP R1</p> <p>21) SR1K-a VDCP R2</p> <p>22) SR1K-a VDCP R3</p> <p>23) SR1K-a VDCP R4</p> <p>24) SR1K-a VDCP R5</p> <p>25) SR1K-a VDCP R6</p> <p>26) SR1K-a VDCP R7</p> <p>27) SR1K-a VDCP R8</p> <p>28) SR1K-a VDCP P1</p> <p>29) SR1K-a VDCP P2</p> <p>30) SR1K-a VDCP P3</p> <p>31) SR1K-a VDCP P4</p> <p>32) SR1K-a VDCP P5</p> <p>33) SR1K-a VDCP P6</p> <p>34) SR1K-a VDCP P7</p> <p>35) SR1K-a VDCP P8</p> <p><b>【LAN 制御】</b></p> <p>36) BlkMgc-a Eth</p> <p>37) BlkMgc-a Sio</p> <p>38) BlkMgc-a Eth&amp;Sio ※オプションライセンスが必要です。</p> <p><b>【特殊制御】</b></p> <p>39) Musashi-a Eth</p> <p>40) KiPro-a</p> <p>41) TEST 用なので選択しないで下さい。</p>
17302	\$Port2-Protocol	PORT 2 で使用するプロトコルを選択します。 同上
17303	\$Port3-Protocol	PORT 3 で使用するプロトコルを選択します。 同上
17304	\$Port4-Protocol	PORT 4 で使用するプロトコルを選択します。 同上
17320	\$PreDefSetPort	MENU 変更時に Default に戻すか如何なを指定 ポート毎に指定する事が可能です。

○ “20000: Console” 関連

操作パネル関連の設定メニューです。

Console		
項目番号	項目名	内容
22001	Port1-RecNextClipId	PORT1で使用する、次の記録用のファイル番号です。 M...0001
22002	Port2-RecNextClipId	PORT2 同上 M...0001
22003	Port3-RecNextClipId	PORT3 同上 M...0001
22004	Port4-RecNextClipId	PORT4 同上 M...0001
27400	PortSelectMode	ポートの選択モードを指定します。 Normal : 標準のポート選択モード OldParaSel : 旧(MDC50T 等形式)複数ポート選択モード △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27401	PortAutoChg	再/録操作時に従う(カップリング)ポートの自動切り替えの設定。 Disable : 自動切り替えしない Enable : 再生系操作をした場合は再生系ポートへ自動切り替え、 記録系操作をした場合は記録系ポートへ自動切り替え
27402	PwrOn-CueInitMode	電源投入時 CUE データの削除指定 Disable : 削除しない Enable : 削除する。
27501	Port1-RecCoupling	PORT1 選択時での記録制御先指定。(カップリング用) 16 パターンの設定が可能です。 1... △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27502	Port2-RecCoupling	PORT2 同上 . 2. .
27503	Port3-RecCoupling	PORT3 同上 . . 3. .
27504	Port4-RecCoupling	PORT4 同上 . . . 4
27511	Port1-PlayCoupling	PORT1 選択時での再生制御先指定。(カップリング用) 16 パターンの設定が可能です。 1... △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27512	Port2-PlayCoupling	PORT2 同上 . 2. .
27513	Port3-PlayCoupling	PORT3 同上 . . 3. .
27514	Port4-PlayCoupling	PORT4 同上 . . . 4
27601	Port1-ListBank	PORT1 選択時でのファイルリストの登録エリアの指定。 Bank-A Bank-B Bank-C Bank-D △本項目は Collection メニューで自動設定されます。

27602	Port2-ListBank	PORT2 同上 <u>Bank-B</u>
27603	Port3-ListBank	PORT3 同上 <u>Bank-C</u>
27604	Port4-ListBank	PORT4 同上 <u>Bank-D</u>
27611	Port1-ClipListBank	PORT1 選択時での CLIP(CUE)リストの登録エリアの指定。 <u>Bank=A</u> <u>Bank=B</u> <u>Bank=C</u> <u>Bank=D</u> △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27612	Port2-ClipListBank	PORT2 同上 <u>Bank=B</u>
27613	Port3-ClipListBank	PORT3 同上 <u>Bank=C</u>
27614	Port4-ClipListBank	PORT4 同上 <u>Bank=D</u>
27621	Port1-PlayListBank	PORT1 選択時でのプレイリストの登録エリア指定。 <u>Bank=A</u> <u>Bank=B</u> <u>Bank=C</u> <u>Bank=D</u> △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27622	Port2-PlayListBank	PORT2 同上 <u>Bank=B</u>
27623	Port3-PlayListBank	PORT3 同上 <u>Bank=C</u>
27624	Port4-PlayListBank	PORT4 同上 <u>Bank=D</u>
27701	Port1-Symbol	PORT1 のシンボルを変更します。 A~D / 1~V4 / R1~R4 / P1~P4 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27702	Port2-Symbol	PORT2 同上 <u>B</u>
27703	Port3-Symbol	PORT3 同上 <u>C</u>
27704	Port4-Symbol	PORT4 同上 <u>D</u>
27711	Port1-DevStsIcon	PORT1 のアイコンを画像入力にするか Symbol にするか選択します。 <u>PortSym</u> : 上記(27701)のシンボルに従います。 Video-IN1 : IN1 画像を表示します。
27712	Port2-DevStsIcon	PORT2 同上 <u>PortSym</u>
27713	Port3-DevStsIcon	PORT3 同上 <u>PortSym</u>
27714	Port4-DevStsIcon	PORT4 同上 <u>PortSym</u>

27801	\$MarkBlankKeyAsn	MARK エリアの Blank キーを変更します。 Blank : 何もしません。 Search : CUE 点を Search します。 Login : カップリング中に REC 側の CUE 点を登録します。
27811	\$ContKeyAsn-1	CONTROL エリアの Blank キー-1を変更します。 対応機種 MDC-74
		1) Blank 何もしません 関連機能: スクリーンキャプチャー(MENU66005)
		2) Var VAR 動作に切り替えます。 MDC-70T・MDC-70 使用時有効
		3) J/S JOG 動作に切り替えます
		4) Stop STOP 動作
		5) Rec REC 動作
		6) Play PLAY 動作
		7) F-Play F-PLAY 動作
		8) Rew REW 動作
		9) F.FWD FWD 動作
		10) Top TOP 動作
		11) End END 動作
		12) Standy STANDBY ON 動作
		13) Eject EJECT 動作
		14) Prev PREV 動作
		15) Next NEXT 動作
		16) Var1 VAR1 再生動作
		17) Var2 VAR2 再生動作
		18) Var3 VAR3 再生動作
		19) RecDlyVar 特殊再生(ハイフレームレート) 関連機能: MENU3090B
		20) Jp-RecInTc 特殊用途 関連機能: MENU30807
		21) Jp-RecOutTc 特殊用途 関連機能: MENU30807
		22) Step(-) - 1Frame 送り
		23) Step(+) + 1Frame 送り
		24) SyncPlay 簡易同期PLAY
		25) MdaStby 特殊用途
		26) SyncTopPlay ファイル頭に移動して再生する ※特殊用途(TOP コマンドに対応した機器のみ)
		27) CurTOP 特殊用途
28) CurEND 特殊用途		
27812	\$ContKeyAsn-2.	CONTROL エリアの Blank キー-2 を変更します 対応機種 MDC-74・MDC-70・MDC-70T 機能は MENU27811 を参照して下さい
27813	\$ContKeyAsn-3.	CONTROL エリアの Blank キー-3 を変更します 対応機種 MDC-74 機能は MENU27811 を参照して下さい
27814	\$ContKeyAsn-4	CONTROL エリアの Blank キー-4 を変更します 対応機種 MDC-74 機能は MENU27811 を参照して下さい
27815	\$ContKeyAsn-5	CONTROL エリアの Blank キー-5 を変更します 対応機種 MDC-74 機能は MENU27811 を参照して下さい
27816	\$ContKeyAsn-6	CONTROL エリアの Blank キー-6 を変更します 対応機種 MDC-74 機能は MENU27811 を参照して下さい

27817	\$ContKeyAsn-7.	CONTROL エリアの Blank キー7を変更します 対応機種 MDC-74・MDC-70 機能は MENU27811を参照して下さい
27818	\$ContKeyAsn-8	CONTROL エリアの Blank キー8を変更します 対応機種 MDC-74 機能は MENU27811を参照して下さい
27819	\$ContKeyAsn-9	CONTROL エリアの Blank キー9を変更します 対応機種 MDC-74 機能は MENU27811を参照して下さい
2781A	\$ContKeyAsn-10	CONTROL エリアの Blank キー10を変更します 対応機種 MDC-74 機能は MENU27811を参照して下さい
2781B	\$ContKeyAsn-11	CONTROL エリアの Blank キー11を変更します 対応機種 MDC-74 機能は MENU27811を参照して下さい
27901	Preroll-1	プリロール時間の指定 <u>-03:00</u> 時間変更可能です。
27902	Preroll-2	プリロール時間の指定 <u>-05:00</u> 時間変更可能です。
27903	Preroll-3	プリロール時間の指定 <u>-07:00</u> 時間変更可能です。
27904	Preroll-4	プリロール時間の指定 <u>-10:00</u> 時間変更可能です。
27905	Preroll-5	プリロール時間の指定 <u>-20:00</u> 時間変更可能です。
26906	Preroll-6	プリロール時間の指定 <u>-30:00</u> 時間変更可能です。
27911	PostRoll-1	ポストロール時間の指定 <u>+03:00</u> 時間変更可能です。
27912	PostRoll-2	ポストロール時間の指定 <u>+05:00</u> 時間変更可能です。
27913	PostRoll-3	ポストロール時間の指定 <u>+07:00</u> 時間変更可能です。
27914	PostRoll-4	ポストロール時間の指定 <u>+10:00</u> 時間変更可能です。
27915	PostRoll-5	ポストロール時間の指定 <u>+20:00</u> 時間変更可能です。
27916	PostRoll-6	ポストロール時間の指定 <u>+30:00</u> 時間変更可能です。
27B00	CTL-DisplayMode	CTL の時間表示方法の指定 24H <u>12H</u>
27D00	AtCup-SetClp-Clist	ClipList に CUE 点を登録した時に自動で CUE UP します。 <u>Disable</u> :CUE UP しません。 Enable :CUE UP します。
27D01	AtCup-SetClp-Plist	PlayList に CUE 点を登録した時に自動で CUE UP します。 <u>Disable</u> :CUE UP しません。 Enable :CUE UP します。
27D02	AtCup-CsrMov-Mlist	Material List でカーソルを移動させた時に自動で CUE UP します。 <u>Disable</u> :CUE UP しません。 Enable :CUE UP します。

27D03	AtCup-CsrMov-Clist	Clip List でカーソルを移動させた時に自動で CUE UP します。 Disable : CUE UP しません。 Enable : CUE UP します。
27D04	AtCup-CsrMov-Plist	Play List でカーソルを移動させた時に自動で CUE UP します。 Disable : CUE UP しません。 Enable : CUE UP します。
27D05	AtCup-Wait	CueUp 時のタイミング調整 0frame
27E01	Preset VAR-1	VAR 再生のスピードを指定します。 100% %の変更は可能です。
27E02	Preset VAR-2	VAR 再生のスピードを指定します。 50% %の変更は可能です。
27E03	Preset VAR-3	VAR 再生のスピードを指定します。 30% %の変更は可能です。
27F01	SpeedMode	T-BAR 操作とJOG操作の切替え方法を指定します。 Button : J/S、VAR ボタンによる切替え Direct : T-BAR/DIAL 操作による切替え
27F02	DialSafeStopper	Direct 切替え操作時、JOG の操作方法を指定します。 Disable : Stopper 機能は無効になります。 Enable : Stopper 機能は有効になります。
28000	JogPattern	JOG の操作感の変更が可能です。 Fix : デフォルトパラメータ(固定)での動作になります。 Adjustable : 以下のパラメータ指定が有効になります。
28001	JogParam-Point1	10
28002	JogParam-Point2	20
28003	JogParam-Angl1	1
28004	JogParam-Angl2	5
28005	JogParam-Angl3	30
28006	JogParam-JogToShtl	20
28101	T-BarLimit	T-Bar のスプリング位置からの動作を指定します。 Free : 早送り・巻き戻し動作します。 Low : 下位置以下で停止状態です。 High : 上位置以上でPLAY状態です。 Low&High
28200	ExtRefDispMode	REF が接続されているか否か、STOP ボタン点滅で指定します。 Disable : REF 入力が無くても点滅しません。 StopSw : REF 入力が無いと STOP SWが点滅します。
28202	DialCursorAdjust	JOG(SFT+△)でカーソルを移動させた時の移動量の調整パラメータです。 3
28203	PB/EE-SendPort	EE コマンドを出すポートを指定します。 MasterPort : 現在選択中(PORT 選択 SW 点滅中)のポート RecPort : 記録系ポート PlayPort : 再生系ポート
28204	RecStopOprTimer	RECの停止時の操作を長押しで停止する様に時間指定します。 0 frame
28205	StopSwLgOprMod	パラ選択時に STOP ボタンを長押しするとマスターポートに CUEUP します

		1) <u>Disable</u> 2) <u>MasterCueup</u>
28206	FfRwSwOprMod	FF/REW ボタンの機能変更 1) <u>Normal</u> : FF/REW 2) <u>x2,x10,x50</u> : 押す毎に切替わります
28207	RecOprChkSel	REC ボタン操作時の REC 開始確認条件指定 1) <u>Normal</u> : 確認しません 2) <u>Tcg&amp;TcAns</u> : 出力 TC と SIO の TC が一致していたら REC する
28208	StopSwLgOprTimer	STOP 長押し操作の時間指定 0=Def(30f) MENU28205 が 2)MasterCueup の時有効
28209	Sft+PlayMod	SFT+PLAY 操作モード 1) <u>DelayPlay</u> : 追っかけ再生 2) <u>SyncPlay</u> : 簡易同期 Play
2820A	ClipLoopMod	LoopMode の動作指定 1) <u>Disable</u> 2) <u>CurClip</u> 3) <u>AllClip</u>
<del>2820B</del>	<del>SyncMenSel</del>	<del>同時再生の動作指定 1) <del>Normal</del> (本装置) 2) <del>MCI=70</del></del>
2820C	PlyMod	PlayList 画面で STANDBY から PLAY した時の動作指定 1)Drfult : F-PLAY 2)Mode1: STANDBY 状態の時 F-PLAY / STANDBY してない時 PLAY
2820D	ClpPlyMod	ClipList 画面で STANDBY から PLAY した時の動作指定 1)Drfult : F-PLAY 2)Mode1: STANDBY 状態の時 F-PLAY / STANDBY してない時 PLAY
2820E	OtherScrFPlayMod	2820C/2820E 以外の時の動作 1)Nop 2)Play
29100	DvStsUprTcTyp	DeviceStatus 画面の各 Chの右上の表示切替 1)Default(UB&FTC) 2)SyncPosi(将来対応)
29101	DvSts:LwrTcTyp	Diff 表示の指定 1) <u>Normal</u> 表示しません 2) <u>Diff(MasterDev)</u> 点減ポートの TC の相対値を表示 3) <u>Diff(VirMcn)</u> 未使用
29102	DvSts:FplayCont	DeviceDtatus 画面の F-PLAY 操作時のモード指定 1) <u>DelayPlay</u> 追っかけ再生 2) <u>SyncPlay</u> 簡易同期再生
29103	LtcTmr:LtcSrc	TimerMode の時間の取得先を指定します。 1)LTCIn 2)Eth(Mci)
29104	LtcTmr:TrgTcChkWd	TimerMode の時間の検出間隔 1)30f 2)60f 3)90f
29105	LtcTmr:FwChkFrm	TimerMode の時間の歩進検出 1)30f 2)60f 3)90f
29500	MatrList:FplayCont	MaterialList の F-Play 動作指定 1)ParaPlay 2)SyncPlay
29600	ThumbnailCapture	CUE 点のサムネイルを IN1~4の入力画像よりキャプチャーする事が可能です。

		<p>Disable : キャプチャー登録します。  Enable : キャプチャーは行いません。  ※キャプチャー機能を有効にすると、CUE 点の登録動作が遅くなります。</p>
29601	ClipList-SetMode	<p>Clip List へのCUE点の登録方法を選択します。  Search : 若番より空いている所に登録します。  OverWrite : カーソル位置に上書します。</p>
29602	ClipLisFplayCont	<p>Clip List 画面の F-PLAY 操作時時の動作  1)ParaPlay  2)Sync Play</p>
28700	PlayListFplayCont	<p>Clip List 画面の F-PLAY 操作時時の動作  1)ParaPlay  2)Sync Play</p>
29900	AE-SyncRetry	<p>VTR 簡易編集画面時での調相制御リトライ回数パラメータです。  3</p>
29901	AE-EditChSel	<p>Edit チャンネルの選択です  1) MasterPort (Def)  2) 1 . . .  3) . 2 . .  4) 12 . .  5) . . 3 .  6) 1 . 3 .  7) . 12 .  8) 123 .  9) . . . 4  10) 1 . . 4  11) . 2 . 4  12) 12 . 4  13) . . 34  14) 1 . 34  15) . 234  16) 1234</p>



○ “30000:Sio“ 関連

SIO ポート関連の設定メニューです。

設定対象の SIO ポート1~4 の切り替えは、PORT SELECT ボタンで行います。

Sio		
項目番号	項目名	内容
30101	Sio:Baudrate	SIO のボーレート指定 9600 19200 <u>38400</u> 115200 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30102	Sio:DataBit	SIO のデータビット指定 7bit <u>8bit</u> △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30103	Sio:Parity	SIO のパリティビット指定 Non Even <u>Odd</u> △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30104	Sio:StopBit	SIO のストップビット指定 <u>1bit</u> 2bit △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30105	Sio:PinAssign	SIO の Tx/Rx 信号アサインの指定 <u>RemoteOut</u> (VTR 等とストレートケーブルで接続の場合) RemoteInp (コントローラ等とストレートケーブルで接続の場合) ※ケーブルのストレート/クロスをここで吸収可。 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30106	Sio:FrameTimeOut	SIO のフレーム通信タイムアウト指定 (単位≒Ref) <u>5</u> (通常左値固定) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30107	Sio:CharTimeOut	SIO の受信キャラクタ間タイムアウト指定 (単位≒ms) <u>15</u> ※スループロトコルの場合、接続相手の性能に合わせて適値として下さい。 受信フレームが問題なく安定して“終端される”範囲で最小値に調整して下さい。 ※上記デフォルト値は安全の為、少し長めの値としてあります。 フレーム精度制御の必要が無ければデフォルトのまま使用して下さい。 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30201	PortDirection	接続対象との“制御の方向”の指定 <u>RemoteOut</u> MCI が制御を出す場合 (=VTR 等) RemoteInp MCI が制御を受ける場合 (=コントローラ等) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30202	Protocol	通信プロトコルの指定 1)Through (プロトコル非依存のスルー通信をさせる場合) <u>2)9pin</u> 3)Odetics 4)Sdisk

		5)Vdcp 6)Ether ※“Through “指定の場合、以降のプロトコルに依存する設定項目は制御に使用しない為、基本はデフォルトのままとして下さい。 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30203	FrameFormat	フレームフォーマット指定 NTSC-DF NTSC-NDF PAL
30205	DoropFrameSign	ドロップフレーム指定 DeviceAnswer (DF はデバイスからの TC アンサーに従う) Fix (先述フレームフォーマット値で固定)
30206	OptCmdParam	オプションパラメータ指定 01 h (通常左値固定)
30207	PortAttribute	ポートの 再/録 制御 属性の指定 Play&Rec (再/録 制御 両方行うポート) (通常左値固定) Play (再生制御のみ行うポート) (Disk 系の Play ポート等) Rec (記録制御のみ行うポート) (Disk 系の Rec ポート等) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30208	ExpfTcSel	60Frame 素材の TC 表示設定 1) Disable 2) BlkMgc60(ODD/EVEN 情報をドットで表示)
30209	ThrSnsTrmMod	1)RefEnd 2)ChrTout
30500	DevStsSns-Tmg	周期ステータスセンス送信タイミング指定 0 (通常左値固定) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30501	TcSnsTyp1(S)-Tmg	周期 TC センス送信タイミング指定(センス TC が1種類用) 0 (通常左値固定) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30502	TcSnsTyp1(D)-Tmg	周期 TC センス送信タイミング指定(センス TC が2種類用の1つ目) 0 (通常左値固定) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30503	TcSnsTyp2(D)-Tmg	周期 TC センス送信タイミング指定(センス TC が2種類用の2つ目) 0 (通常左値固定) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30504	ThrCmd-Timing	コマンド送信タイミング指定 1) Disable 2) DevStsSns-Tmg △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30600	Stop-Timing	STOP コマンドタイミング指定 6 frame (通常左値固定) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30601	Still-Timing	STILL コマンドタイミング指定 6 frame (通常左値固定) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30602	Rec-Timing	REC コマンドタイミング指定 5 frame (通常左値固定)
30603	Play-Timing	Play コマンドタイミング指定 5 frame (通常左値固定)

		△本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30606	RecTcOffset	Rec 時の TC に対するオフセット 0 frame (通常左値固定)
30607	PlayTcOffset	Play 時の TC に対するオフセット 0 frame (通常左値固定)
30608	FullEeOn-Wait	Full-EE ON 切替必要 Wait 30frame △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30609	FullEeOff-Wait	Full-EE OFF 切替必要 Wait 30frame △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30700	RecEnable	記録制御の有効/無効 RecDisable 記録禁止 RecEnable 記録許可 (通常左値固定)
30701	NomalRecStartDly	REC コマンド遅延指定 0 frame
30702	AtRecInTc-RecChkWt	AutoStopSel 機能有効時に REC 開始直後の TC が不安定な時に調整する為のパラメータ 0Frame (通常左値固定)
30703	RecStartPosiMode	REC開始時に前回の RECOuTC に Cueup する機能 1) Disable 2) LastRecOutTc
30800	StopCommand	停止制御に使用するコマンドの指定 Stop (通常左値固定) Var-Zero (KiPro-a 設定時自動設定されます) Jog-Zero Shuttle-Zero
30803	DialShuttleMax	Shuttle 使用時の MAX 値の設定 x4, x8, x16, x32, x50, x60, x100, x200, Max, FF/REW
30804	DialVarMax	JOG_VAR 使用時の MAX 値の設定 ※MDC-70 のみ x4, x8, x16, x32, x50, x60, x100, x200, Max, FF/REW
30805	T-BarMax	T-Bar 使用時の MAX 値の設定 ※MDC-70T のみ x4, x8, x16, x32, x50, x60, x100, x200, Max, FF/REW
30806	T-BarSpdBias	T-Bar 動作のスピードを変更します。 X1~x8
30807	AutoStopSel	AutoStopSel 機能の選択です。 1) Disable : 何もしない 2) RecInOut : 収録のIN点 OUT 点の管理を行う機能です。 (KiPro-a 設定時自動設定されます)
30808	AutoStopOfs	AutoStopSel 機能有効時に REC 停止時の TC のバラつきを吸収する為のパラメータ 30 frame (KiPro-a 設定時自動設定されます)
30809	DialSpdIntvl	ダイヤル操作でコマンドを送信する間隔調整 0 (KiPro-a 設定時自動設定されます)
3080A	DialJogCtrlMode	ダイヤル操作で使用するコマンドの選択 1) SpeedCmd 2) CueupCmd (KiPro-a 設定時自動設定されます)
3080B	SpeedLimiter	1)off 2)x1 3)x2 4)x3 5)x4

30902	Cue:StartWait	同期 Cueup 制御での制御開始タイミング指定 10 frame (通常左値固定)
30903	Cue:CmplChkWait	同期 Cueup 制御での制御完了監視 Delay 指定 10 frame (通常左値固定)
30904	Cue:CmplDelay	同期 Cueup 制御での制御完了 Delay 指定 10 frame (通常左値固定)
30905	Cue:ReCueup	同期 Cueup 制御での再制御指定 ReCueup No-ReCueup (通常左値固定)
30907	Cue:RecTc-SchDly	自動追いかけ再生制御での再生遅延量の設定 XDS 210 frame F-VTR 30frame SR1K 30frame
30908	Cue:CupAftStlCmd	画出力機能付き Cueup 機能での画出しの為の停止制御指定 Nop (通常左値固定) Stop Var-Zero Jog-Zero Shuttle-Zero ※Cueup 後、EE になるなどの機器の対策用。
30909	Cue:CupAftStlDly1	上記 Cueup 機能での Cueup 送信後から停止送信までの Delay 30 frame (通常左値固定)
3090A	Cue:CupAftStlDly2	上記 Cueup 機能での Cueup 完了後から停止送信までの Delay 5 frame (通常左値固定)
3090B	Cue:RecTcAftVarSpd	白キー設定 RecDlyVar 設定時のスピードパラメータです。 x1、x2、x3、x4、x5、x6、x7、x8が設定可能です。
3090C	Cue: AtRecInOut-JmpOfs	RecIn/Out TC 位置に CueUp する機能のオフセット 0 Frame (KiPro-a 設定時自動設定されます)
3090D	Cue:CueupRetryCnt	CUE UP 時のリトライ回数指定 0 (KiPro-a 設定時は 3 で設定されます) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
3090E	Cue:CueupRetryWt	CUE UP 時のリトライ間隔 0 (KiPro-a 設定時は 60 で設定されます)
3090F	Cue:CueupStsEmu	CueUP ステータスを使用する 1) DevSts 2) DF-Sts CueUP ステータスを使用しない 3) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30910	Cue:PreStillAfteWt	内部パラメータ 15
30911	Cue:CupStsChkTout	Cueup 送信後の Cueup Sts チェックのタイムアウト (frame) 0 = タイムアウトチェックしない 1~ = タイムアウト指定 ※デバイスからの Cueup 中ステータスが立ちっぱなしになる機器のタイムアウト指定
30912	Cue:CupRtryOfst	Cueup リトライ時、一旦ずらして Cueup させるための Offset (frame)
30913	Cue:ClpTcTyp	1)Frame&TC 2)TC
30914	CuePosCmpDly	10
30915	CueCupParkStsTmr	10
30916	CueDrvCmdMod	1)Disable 2)Send
30A02	Sync:StartDelay	同期再生制御開始タイミング指定

		5 frame (通常左値固定) Edit 開始時に自動調整します。 ※自動調整機能は S0100-01-6C より対応
30A04	Sync:DiffChkWt	同期再生制御 TC 監視タイミング指定 30 frame (通常左値固定)
30A05	Sync:SyncGrade	同期再生制御 TC 監視許容幅指定 0 frame (通常左値固定)
30A08	Sync:LockCmplWt	同期再生制御 TC 監視持続時間指定 20 frame (通常左値固定)
30A0D	Sync:ParaRecDelay	一斉 Rec 制御時の Rec 送信 Delay 指定 0 frame (通常左値固定)
30D00	V:VtrStsSnsLen	VTR ステータスセンスの byte 数指定 14 byte (通常左値固定) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30D01	V:TcSnsType1	VTR TC センス種別 指定 <u>Auto</u> (通常左値固定) LTC VITC FTC
30D02	V:TcSnsType2	VTR TC センス種別 指定 (2 種目の TC センス指定用) <u>Disable</u> (2 種目の TC センス無し) (通常左値固定) Auto LTC VITC FTC CTL LTC-UB VITC-UB ※主に CTL や UB の取得用
30D03	V:TcErrBypassCnt	TC センスエラーバイパス回数指定 3 (通常左値固定)
30D04	V:UbitSnsEnable	(TC センスと合わせての)ユーザービットセンス許可指定 <u>Disable</u> センスしない (通常左値固定) Enable センスする
30D06	V:CueupTcType	VTR の Cueup 制御に使用する TC 種別の指定 Free <u>Auto</u> (通常左値固定) TC CTL
30D07	V:ColorFrmSel	VTR 調相制御時に使用するカラーフレームセレクト指定 <u>Free</u> (通常左値固定) 2fild 4fild
30D08	V:VtrExtStsReg	0000_0000
30D0A	V:DevTypMod	1)CycSns 2)NonSns 3)OnceSns
30D0B	V:SpeedSnsType	VTR のスピードセンスコマンド指定 <u>Disable</u> センスしない (通常左値固定) VtrSpeed VTR のスピードセンスコマンドでセンス
30D0F	V:PB-SendMode	VTR の PB コマンド送信指定 <u>Disable</u> 送信しない <u>With-Play</u> 再生系コマンドと一緒に PB 送信 (通常左値固定)
30D10	V:PB-SendDelay	上記送信用の送信 Delay 指定 0 frame (通常左値固定)

30D14	V:CtlResetType	VTR の CTL リセットコマンド指定 <u>ResetCmd</u> CTL リセットコマンドを使用 (通常左値固定) <u>PresetZero</u> オール 0 の CTL 値をプリセット
30D15	V:CtlPresetDF	VTR の CTL リセット時の DF 指定 <u>Default</u> (通常左値固定) DF NDF
30D16	V:TcDirStsEmu	TC 監視による走行方向検出機能 <u>Disable</u> 使用しない (通常左値固定) <u>Enable</u> 使用する ※9pin 仕様での "Dir" ビット非対応の機器用
30D17	V:FastCueupMod	VTR プロトコルで追っかけ再生の有効無効の切替 Collection 設定依存です。 <u>Disable</u> 使用しない <u>Enable</u> 使用する (KiPro-a 設定時は自動設定されます) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30D18	V:PbEeSndDis	REC 操作時に EE コマンドを使用するか指定します。 1) OFF 2) ON
30D19	V:PbEeSndDis	EE 操作時のコマンド指定 1) FullEE 2) Stopx2 (KiPro-a 設定時は自動設定されます)
30D1A	V:CupCmdDfSel	Cueup コマンドの frame byt に DF を付ける 1) Disable(付加しない) 2) DF-Set(付加する) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30D1B	V:DlyPlyCupCmd	追いかけて再生時の Cueup Cmd 指定 1) VtrCueup : Vtr Cueup Cmd 2) XDS-EndCmd : XDS End Cmd (collection XDS で自動設定されま す) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30E40	V:EdtPrsSnsLen	VTR の Edit Preset センス長 指定 0 byte センスしない (通常左値固定) ※DA が 8ch までの一般的な VTR 機器は 2 として下さい。
30E43	V:EditIn-Tmg	VTR の Edit-ON 送信タイミングパラメータ 5 frame (通常左値固定)
30E44	V:EditOut-Tmg	VTR の Edit-OFF 送信タイミングパラメータ 4 frame (通常左値固定)
30E45	V:EditIn-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-ON 送信タイミングパラメータ 0 frame (通常左値固定)
30E46	V:EditOut-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-OFF 送信タイミングパラメータ 0 frame (通常左値固定)
30E47	V:EditMiniDur	VTR 編集制御の最小デュレーション 15 frame (通常左値固定)
30E48	V:EditAsmSetMod	アッセンブル編集のコマンド指定 1) Default 2) AllBitOn (collection XDS で自動設定されます) △本項目は Collection メニューで自動設定されます
31000	Dsk:FnameSnsTyp	Disk 系プロトコルのファイルセンスコマンド指定 <u>Normal</u> センスコマンドはプロトコル設定に従う (通常左値固定) Doremi コマンド固定 AMP コマンド固定 S-Disk コマンド固定

31002	Dsk:DriveType	Disk 系プロトコルでの ディスクドライブ制御 指定 1) <u>Unused</u> ドライブ制御無し (通常左値固定) 2) <u>Used</u> △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
31003	Dsk:FileListSns	Disk 系プロトコルでのファイル名リストセンス指定 Disable ファイル名リストセンスを行わない Enable ファイル名リストセンスを行う
31004	Dsk:CouplingRecPort	カップリング使用時のポート指定 1) Disk 2) OneAhead (通常左値固定) 3) Port1 4) Port2 5) Port3 6) Port4
31005	Dsk:JumpCmdTyp	NEXT/PREV 動作時に使用するコマンド指定 1) XDCAM 2) KiPro (KiPro-a 設定時は自動設定されます)
31006	Dsk:ClpIdxStsTyp	Clip 番号(メディア上の順番) ステータス 指定 1) DevDep": デバイス依存 2) XDS-AdtSts": XDS の拡張ステータスより ※これは、MDC-70x の Clip 名表示欄に XDS の VTR モード時にも Clip 番号を参考までに表示する機能
31100	Sdsk:RecDur	Disk 系プロトコルでの収録時間の指定 00:00:00:00 (通常左値固定) (一部の Disk 系機器でオープンエンドの意)
31103	Sdsk:ModelType	S-Disk プロトコルのモデル指定 <u>MAV</u> (通常左値固定) DR1000 XDCAM
31300	Ode:RecCueRec ->RecWt	Oditcs プロトコルでの Rec 送信タイミング指定 10 (通常左値固定)
31501	Vdcp:RecPortId	VDCP での 収録系の "PORT-ID" の指定 (dec) 000 (収録系ポートで無いか、PC 側で OpenPort 制御を行う場合は"0") 指定する場合は、通常 -1、-2、-3... 等の負数で指定 適値は VDCP 機器依存 (通常は"-1"等) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
31502	Vdcp:PlayPortId	VDCP での 再生系の "PORT-ID" の指定 (dec) 000 (再生系ポートで無いか、PC 側で OpenPort 制御を行う場合は"0") 指定する場合は、通常 1、2、3... 等の正数で指定 適値は VDCP 機器依存 (通常は"2"等) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
31504	Vdcp:CueupCmd	VDCP での Cueup コマンド指定 Cueup(open) Cueup(jog) PlayCue(open) <u>PlayCue(jog)</u> (通常左値固定)
31505	Vdcp:FnameSnsTyp	VDCP でのファイルセンスコマンド指定 ShortName <u>LongName</u> (通常左値固定)
31506	Vdcp:TcSnsType	VDCP での TC センスコマンド指定 Single(FTC) Single(LTC)

		Dual(FTC/LTC) (通常左値固定)
31507	Vdcp:StillCmd	VDCP での停止動作コマンド指定 Still <u>Var-Zero</u> (通常左値固定)
31508	Vdcp:FileDelWt	VDCP のファイル削除機能タイミング指定 60 (通常左値固定)
3150A	Vdcp:CueupAftPlayWt	VDCP の連続再生時のコマンド送信タイミング指定 10 (通常左値固定)
3150B	Vdcp:CloseAftWt	VDCP の CUEUP 時のコマンド送信タイミング指定 0 (通常左値固定)
3150C	Vdcp:PlayCmdMod	1)Continue 2)Play&Conti
3150D	Vdcp:CupAftPctOtCm	1)Still 2)VerZero 3)VerSlw
31600	Vdcp:ClipMinDur	VDCP でのクリップの最小サイズ指定 30 frame (通常左値固定)
31601	Vdcp:Nxt-PlayTmg	VDCP で連続再生を行う時の Play タイミング指定 3 frame (通常左値固定)
31602	Vdcp:End-StpTmg	VDCP で連続再生を行う時の Stop タイミング指定 3 frame (通常左値固定)
31603	Vdcp:NextCupTmg	VDCP で連続再生を行う時の 次 Cueup タイミング指定 5 frame (通常左値固定)
31604	Vdcp:ClipTc-Typ	VDCP で連続再生を行う時の制御タイムコードの指定 <u>ZeroBase</u> (通常左値固定) ClipTc
31605	Vdcp:2nd-PlyTmg	VDCP で連続再生を行う時の 2ndClip の Play タイミング指定 0 frame (通常左値固定)
32000	Eth:Cmd-Protocol	LAN 制御のプロトコルを指定 1)Disable 2)BlkMgc △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
32001	Eth:Frm-Protocol	LAN 制御のプロトコルを指定 1) Default 2) LF-trm △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
32004	Eth:Dev-IpAddr	制御対象機器の IP アドレス 192.168.001.240
32005	Eth:Dev-UdpPortNo	UDP 使用時の PortNo 0 (0=Def) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
32006	Eth:Dev-TcpPortNo	TCP 使用時の PortNo 0 (0=Def) △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
32007	Eth:Dev-MusUnitId	SIO ポートの ID 番号です 1
32008	Eth:TcpConRtry	LAN 通信のリトライ間隔です 30frame
3200B	Mac:Mdc-LAN PortNo	使用する LAN Port の指定 1) Default(LAN-2) 2) LAN1
3200C	Eth:tcpDiseTout	デバイスとの TCP 接続のタイムアウト 5 sec
3200D	Eth:SycComBmp	同じポート内で、同時にLAN接続するデバイスの選択(16 台まで) 0000 0000 0000 0001
3200E	\$Eth:SyncDefMasterNo	同じポート内で、同時にLAN接続するマスターデバイスの選択
32010	Eth:SioCmdTyp	Ether制御と422制御の切替



		1) Disable Ether コマンドのみ使用 2) Vtr ファイル系は Ether 制御系は 9Pin を使用 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
32012	Eth:CycSnsIntvl1	Ether制御のインタバル調整です。 1
32013	Eth:CycSnsIntvl1	Ether制御のインタバル調整です。 5
33001	Gpi:PcModeSel	特殊用途
33100	Gpi:Eject-C	GPI 入力 VTR-Eject コマンド受付 Bit の指定 00000000 (対象 Bit 桁を1にすると有効) (以下同)
33101	Gpi:Stbyoff-C	GPI 入力 VTR-Standby-OFF コマンド受付 Bit の指定
33102	Gpi:StbyOn-C	GPI 入力 VTR-Standby-ON コマンド受付 Bit の指定
33103	Gpi:Stop-C	GPI 入力 VTR-Stop コマンド受付 Bit の指定
33104	Gpi:Still-C	GPI 入力 VTR-Still コマンド受付 Bit の指定
33105	Gpi:Rec-C	GPI 入力 VTR-Rec コマンド受付 Bit の指定
33106	Gpi:Play-C	GPI 入力 VTR-Play コマンド受付 Bit の指定
33107	Gpi:FF-C	GPI 入力 VTR-FF コマンド受付 Bit の指定
33108	Gpi:Rew-C	GPI 入力 VTR-Rew コマンド受付 Bit の指定
33109	Gpi:Next-C	GPI 入力 VTR-Next ※PDW/XDS 拡張コマンド
3310A	Gpi:Prev-C	GPI 入力 VTR-Prev ※PDW/XDS 拡張コマンド
3310B	Gpi:Top-C	GPI 入力 VTR-Top ※PDW/XDS 拡張コマンド
3310C	Gpi:End-C	GPI 入力 VTR-End ※PDW/XDS 拡張コマンド
33200	Gpi:Rem-S	GPI 出力 VTR-REMOTE/LOCAL ステータス出力 Bit の指定 00000000 (対象 Bit 桁を1にすると有効) (以下同)
33201	Gpi:Tape-S	GPI 出力 TAPE 有無 ステータス出力 Bit の指定
33202	Gpi:StbyOn-S	GPI 出力 Standby-ON ステータス出力 Bit の指定
33203	Gpi:Stop-S	GPI 出力 Stop ステータス出力 Bit の指定
33204	Gpi:Still-S	GPI 出力 Still ステータス出力 Bit の指定
33205	Gpi:Rec-S	GPI 出力 Rec ステータス出力 Bit の指定
33206	Gpi:Play-S	GPI 出力 Play ステータス出力 Bit の指定
33207	Gpi:Fwd-S	GPI 出力 VTR-FWD ステータス出力 Bit の指定
33208	Gpi:FF-S	GPI 出力 VTR-FF ステータス出力 Bit の指定
33209	Gpi:Rew-S	GPI 出力 VTR-Rew ステータス出力 Bit の指定
3320A	Gpi:Dir-S	GPI 出力 VTR-逆走行 ステータス出力 Bit の指定
3320B	Gpi:Jog-S	GPI 出力 VTR-Jog ステータス出力 Bit の指定
3320C	Gpi:Shuttle-S	GPI 出力 VTR-Shuttle ステータス出力 Bit の指定
3320D	Gpi:Var-S	GPI 出力 Var ステータス出力 Bit の指定
3320E	Gpi:CueBusy-S	GPI 出力 Cueup 中 ステータス出力 Bit の指定
3320F	Gpi:CueCmpl-S	GPI 出力 VTR-Cueup完了 ステータス出力 Bit の指定
33210	Gpi:SpdMovFw-S	GPI 出力 VTR 順方向走行 ステータス出力 Bit の指定
33211	Gpi:SpdMovRv-S	GPI 出力 VTR 逆方向走行 ステータス出力 Bit の指定
33212	Gpi:Next-S	GPI 出力 VTR-NEXT
33213	Gpi:Prev-S	GPI 出力 VTR-Prev
33214	Gpi:Top-S	GPI 出力 VTR-Top
33215	Gpi:End-S	GPI 出力 VTR-End
33216	Gpi:Loop-S	GPI 出力 HyperDeck (Ether 経由) Loop ステータス
33217	Gpi:SyncLock-S	GPI 出力 同期再生中
33300	Gpi:Stop-OutBit	GPI 出力 VTR-Stop イベントパルス Bit の指定 00000000 (対象 Bit 桁を1にすると有効) (以下同)
33301	Gpi:Stop-OutPls	上記のパルス幅の指定 0 frame

33303	Gpi:Play-OutBit	GPI 出力 VTR-Play イベントパルス Bit の指定
33304	Gpi:Play-OutPls	上記のパルス幅の指定 0 frame
33306	Gpi:Rec-OutBit	GPI 出力 VTR-Rec イベントパルス Bit の指定
33307	Gpi:Rec-OutPls	上記のパルス幅の指定 0 frame

○ “40000:Gpi” 関連

GPI 共通関連の設定メニューです。

Gpi		
項目番号	項目名	内容
45A00	DefGpiOutPtn	電源投入時のGPI出力の論理指定。 00000000 (対象 Bit 桁を1にすると有効)
45A10	DefThrOutPtn-11	IN0の電源投入時のGPI出力のスルー機能指定 00000000 (対象 Bit 桁を1にすると有効)
45A11	DefThrOutPtn-12	IN1の電源投入時のGPI出力のスルー機能指定
45A12	DefThrOutPtn-13	IN2の電源投入時のGPI出力のスルー機能指定
45A13	DefThrOutPtn-14	IN3の電源投入時のGPI出力のスルー機能指定
45A14	DefThrOutPtn-15	IN4の電源投入時のGPI出力のスルー機能指定
45A15	DefThrOutPtn-16	IN5の電源投入時のGPI出力のスルー機能指定
45A16	DefThrOutPtn-17	IN6の電源投入時のGPI出力のスルー機能指定
45A17	DefThrOutPtn-18	IN7の電源投入時のGPI出力のスルー機能指定
45A30	Gpi:PcModeSel	特殊用途 1) Normal / 2) Mode1 ※Mode1 GPIの使用制限
48600	GpiKey-Up	上△ボタンを割り当てる事が可能です 00000000 (対象 Bit 桁を1にすると有効) (以下同)
48601	GpiKey-Dw	下△ボタンを割り当てる事が可能です
48602	GpiKey-Lf	左△ボタンを割り当てる事が可能です
48603	GpiKey-Rt	右下△ボタンを割り当てる事が可能です
48604	GpiKey-Play&Dw	GPI が ON すると再生します。 GPIがOFFすると下△ボタン(NEXT)に移動します。 ※MENU(27D03)を有効にすると NEXT 時に CUE UP します。
48605	GpiKey-Stop	装置の STOP ボタンと同等です。※1
48606	GpiKey-Rec	装置の REC ボタンと同等です。※1 REC+PLAY で収録を開始します。REC+STOP で収録を停止します。
48607	GpiKey-Play	装置の PLAY ボタンと同等です。※1
48608	GpiKey-F-Play	装置の F-PLAY ボタンと同等です。※1
48609	GpiKey-PrvClpStby	PlayListにて前の Clip 点に移動してSTANDBY状態になります。
4860A	GpiKey-NxtClpStby	PlayListにて次の Clip 点に移動してSTANDBY状態になります。
4860B	GpiKey- KeyAsn2	BlankKey2 を GPI に割り当てます。
4860C	GpiKey- KeyAsn3	BlankKey3 を GPI に割り当てます。
4860D	GpiKey- KeyAsn7	BlankKey7 を GPI に割り当てます。
4860E	GpiKey-GpiStop	GPI STOP 動作
4860F	GpiKey-GpiRec	GPI REC 動作
48610	GpiKey-GpiPlay	GPI PLAY動作
48611	GpiKey-CurClpStby	GPI Recue 動作
48612	GpiKey-PrevCueup	GPI PREV 動作
48613	GpiKey-NextCueup	GPI NEXT動作
48700	GpiTly-FplyStby	PlayListにて STANDBY 状態の時にONになります。
48701	GpiTly-FplyRun	PlayListにて再生中状態の時にONになります。
48702	GpiTly-StopKey	GPI 停止中にONになります
48703	GpiTly-RecKey	GPI 収録中にONになります
48704	GpiTly-PlayKey	GPI 再生中にONになります
48800	GpiInhi-Pt1-InBmp	PORT SELECT ボタン1選択時に GPI が ON すると全てのパネル操作が 禁止されます。※48710 で特定のキーを有効にする事が可能です。

48801	GpiInhi-Pt2-InBmp	PORT SELECT ボタン 2 選択時に GPI が ON すると全てのパネル操作が禁止されます。※48711 で特定のキーを有効にする事が可能です。
48802	GpiInhi-Pt3-InBmp	PORT SELECT ボタン 3 選択時に GPI が ON すると全てのパネル操作が禁止されます。※48712 で特定のキーを有効にする事が可能です。
48803	GpiInhi-Pt4-InBmp	PORT SELECT ボタン 4 選択時に GPI が ON すると全てのパネル操作が禁止されます。※48713 で特定のキーを有効にする事が可能です。
48810	GpiInhi-Pt1-EnaKey	PORT SELECT ボタン1 Inhi 機能が有効の時、動作を有効にするボタンを選択します。 1) Off 2) Ply >PLAY ボタンのみ有効 3) Ply,Fply >PLAY/F-PLAY ボタンのみ有効 4) Ply,Fply,Var >PLAY/F-PLAY/Var ボタンのみ有効 5) Ply,Fply,Var,Stp >PLAY/F-PLAY/Va/STOP ボタンのみ有効 6) Stop >STOP ボタンのみ有効
48811	GpiInhi-Pt2-EnaKey	PORT SELECT ボタン2 Inhi 機能が有効の時、動作を有効にするボタンを選択します。 同上
48812	GpiInhi-Pt3-EnaKey	PORT SELECT ボタン3 Inhi 機能が有効の時、動作を有効にするボタンを選択します。 同上
48813	GpiInhi-Pt4-EnaKey	PORT SELECT ボタン4 Inhi 機能が有効の時、動作を有効にするボタンを選択します。 同上

※ 各 SIO ポート個別での GPI コマンド入力/GPI ステータス出力機能(簡易 GPI 機能)は、SIO メニュー側で SIO ポートごとに設定可能です。

※1 装置の PORT SELECT ボタンに依存して GPI 操作が可能です。

○ “50000:Lan/Link“ 関連

Lan/Link 関連の設定メニューです。

Lan/Link		
項目番号	項目名	設定
51200	\$Unitid	ユニット ID 1 ID ※複数の本機を LAN 接続してシステムを組む場合の識別 ID
51202	LAN-1:IP Address	LAN1 ポートの IP 192. 168. 001. 200
51203	LAN-2:IP Address	LAN2 ポートの IP 192. 168. 001. 220
51204	LAN-1:IP Mask	LAN1 ポートの IP マスク 255. 255. 255. 000
51205	LAN-2:IP Mask	LAN2 ポートの IP マスク 255. 255. 255. 000
51208	LAN-1:UdpPortNo	LAN1 の UDP ポート番号です 11000
51209	LAN-2:UdpPortNo	LAN2 の UDP ポート番号です 11000
5120A	LAN-1:TcpPortNo	LAN1 の TCP ポート番号です 12000
5120B	LAN-2:TcpPortNo	LAN2 の TCP ポート番号です 12000
51212	LAN-1:PowerOn OnlineChk Rsp	LAN1 用の電源 ON 通知機能 1) <u>Disable</u> 2) Enable ※電源 ON 後、本機から起動通知用のオンラインチェック応答送信機能
51213	LAN-2:PowerOn OnlineChk Rsd	LAN2 用の電源 ON 通知機能 1) <u>Disable</u> 2) Enable
51216	LAN-1:UdpSndTout	LAN1 用の UDP 送信タイムアウト時間の指定 10 (x10ms) (通常左値固定)
51217	LAN-2:UdpSndTout	LAN2 用の UDP 送信タイムアウト時間の指定 10 (x10ms) (通常左値固定)
51218	LAN-1:TcpSndTout	LAN1 用の TCP 送信タイムアウト時間の指定 10 (x10ms) (通常左値固定)
51219	LAN-2:TcpSndTout	LAN2 用の TCP 送信タイムアウト時間の指定 10 (x10ms) (通常左値固定)
5121A	LAN-1:UdpRsPtofs	LAN1 の UDP ポートのオフセットです 0
5121B	LAN-2UdpRsPtofs	LAN2 の UDP ポートのオフセットです 0
51280	LAN-C:CycRspStop	LAN 共通のステータス通知自動停止時間 60 sec ※PC からのメッセージが途絶えてから、本機からの周期ステータス通知等を自動停止するまでの時間。
512A0	LAN:Ext-IpAddr	192. 168. 1. 200
512A1	LAN:Ext-UdpPt0fs	0

512A3	LAN:Ext-UnitId	1
512A5	LAN:Ext-LanPtNo	1)Default(LAN-2) 2)LAN-1 3)LAN-2
512A6	LAN:Ext-LanRspTout	5sec
512A7	LAN:Ext-RtsRspSel	1)All 2)Main 3)Rem
51401	LINK:SyncPktSend	LINK 機能によるリファレンス供給機能 1) OFF (通常左値固定) 2) ON ※通常は、本設定は OFF とし、各 MCI に直接 Ref を供給して下さい。
55400	LAN-R:DefRspId	LAN による各ステータス応答のデフォルトの応答先 PC の ID 0 (通常左値固定) ※MCI-60 互換動作のデフォルト設定であり、設定する場合は 通常は"8"
55401	LAN-R:DefRspRtMd	LAN による“リアルタイムステータス応答”のデフォルトの応答送信モード 1) Disable 2) UDP-BC 3) <u>UDP-ID</u> (通常左値固定) ※MCI-60 互換動作のデフォルト設定
55402	LAN-R:DefRspSec	LAN によるステータス応答のデフォルトの応答間隔指定 (秒) 0 sec (通常左値固定) ※MCI-60 互換動作のデフォルト設定
55403	LAN-R:DefRspFrm	LAN によるステータス応答のデフォルトの応答間隔指定 (frame) 1 frame (通常左値固定) ※MCI-60 互換動作のデフォルト設定
55404	LAN-R:DefRspIntvlOpt	LAN による“操作イベント(GPI/SW 等)ステータス応答”です 1) Always 2) Dial/T-Bar
55406	LAN-R:DefRspOpMd	LAN による“操作イベント(GPI/SW 等)ステータス応答”のデフォルトの 応答送信モード 1) Disable 2) UDP-BC 3) <u>UDP-ID</u> (通常左値固定) ※MCI-60 互換動作のデフォルト設定

○ “6000: System” 関連

System 関連の設定メニューです。

System		
項目番号	項目名	設定
61000	SystemDate&Time	年/月/日 時間 ※内部時計を設定します。
61400	SysFrameFormat	本機内部で共通に使用するシステムフレームフォーマット 1) <u>NTSC-DF</u> 2) NTSC-NDF 3) PAL ※通常は、Ref 入力(及び LTC 入力)に合わせて設定します。
61502	SysBuz-Sw	ブザーの ON/OFF です 1) ON 2) OFF
61503	SysBuz-Vol	ブザーの長さ指定です Vol-1~8
61505	TrgTcChkWd	10 frame
61506	ScreenSaverMode	スクリーンセーバーの設定です 1) Disable 2) Enable
61507	ScreenSaverTime	スクリーンセーバーの設定です 30min
61508	\$DefRtcAdjMode	RTC の事項補正機能です 1) Disable 2) Ltc-In
66000	\$UnitMode	動作モードを切り替えます。 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
66005	Hcopy	画面のスクリーンショットを USB メモリに保存します。 USB メモリを接続して STOP の隣白ボタン(Blank 設定時)を押すと BMP 形式のファイルでスクリーンショットが可能です。 MDC-74 では EditControl 部の SW が Blank の時にスクリーンショットが可能です。
68900	\$LtcOut-Default	電源投入時の TC OUT の出力指定 1) <u>Disable</u> : 出力しません。 2) Through : TC IN をスルー出力します 3) 0-Still : 00:00:00:00 を出力します 4) 0-Start : 0 時から歩進します。 5) RTC-Start : 内部時計から歩進します。 6) VirTC : 内部 Timer を出力します 7) X-Still : 電源 OFF の時の TC を出力します。
68901	\$TcgTrg-DefRecCh	内部パラメータ調整 00000000 (通常左値固定)
68902	\$DefVirTcCh	内部パラメータ調整 1
68903	TcgTrg-RecSwOpr	REC ボタンを押した時に TCG のスタート指定 1) Disable : 何もしません 2) Enable : REC ボタンを押した時にスタート
68A00	LtcIn-PlyChkFrm	内部パラメータ調整 5 frame (通常左値固定)
68A01	LtcIn-StpChkFrm	内部パラメータ調整 5 frame (通常左値固定)
68A02	LtcIn-Ply0fsFrm	内部パラメータ調整

		0 frame (通常左値固定)
68A03	LtcIn-TcErByps	内部パラメータ調整 3 frame (通常左値固定)



○ “70000:VirtualMcn” 関連

同期制御用マスタ(仮想マスタ)関連の設定メニューです。

※本機の機能による同期制御(各 SIO ポートに接続されている VTR 等の同期制御)を使用しない場合は、以下メニューの設定の必要はありません。

VirtualMcn		
項目番号	項目名	設定
70000	\$VirMcnCnt	本機での仮想マスタの動作台数の指定 4
70201	NtscDF-Mod	仮想マスタの DF の指定 1) <u>Auto</u> 自動 (リファレンスデバイスの TC で自動切り替え) 2) <u>Fix</u> 固定 (システムフレームタイプの設定で固定)
70202	MasterSel	仮想マスタの制御ソースの指定 1) <u>Normal</u> (自立動作、又はリファレンスデバイスに追従) 2) <u>Ltc-In</u> (LTC 入力に追従)
70209	DevSyncMode	複数台同時制御再生の設定を行います。 1) <u>ParaRun1</u> 位相確認無しの同時スタート 2) <u>ParaRun2</u> 位相確認有りの同時スタート 3) <u>Lock</u> 調相制御有りの同時スタート
7020B	VirStsMode	仮想マスタのステータスのソース指定 1) <u>VirMcn</u> (独立動作でのステータス) 2) <u>RefDevTC</u> (リファレンスデバイスの TC のみスルー) 3) <u>RefDevThr</u> (リファレンスデバイスの TC とステータスのスルー)
7020C	VirStopChkWait	リファレンスデバイス追従制御での停止追従感度(ウェイト値)(frame) 30 ※リファレンスデバイスが上記設定値以上停止状態になった時に仮想マスタも停止する。
7020D	PbEeDist	仮想マスタ配下のコントローラから仮想マスタ配下の VTR への EE/PB コマンド分配先指定 1) <u>Lock</u> 同期制御の選択中 VTR へ送信 2) <u>ALL</u> 配下 VTR 全部へ送信 3) <u>P-Port</u> 配下の再生系ポートへの送信 4) <u>R-Port</u> 配下の記録系ポートへの送信
7020F	\$SyncCueupMode	仮想マスタ停止時の配下 VTR への同期 Cueup 制御指定 1) <u>Normal</u> VTR 間の TC 位相合わせ Cueup 有り 2) <u>NonCueup</u> 無し
70400	LtcPlayChkWait	LTC 追従モードでの LTC 再生(1 倍速走行) 検知感度 (frame) 20
70401	LtcStopChkWait	LTC 追従モードでの LTC 停止 検知感度 (frame) 20
70402	LtcPlayLockWait	LTC 追従モードでの LTC 再生(1 倍速走行)安定 検知感度 (frame) 20
70403	LtcPlayOfst	LTC 追従モードでの LTC 再生 TC に対するオフセット 1
71000	\$RefDev	リファレンスデバイスの選択 0 リファレンスデバイスの選択無し (仮想マスタは独立動作) 1~ 選択有り (番号は配下の VTR エントリ番号) ※仮想マスタの動作リファレンスとなるデバイスの選択

71100	\$RecEnaDevBmp	仮想マスタ配下の VTR の Rec 動作許可指定 11111111 11111111 ※LSB=配下の VTR エントリ番号1 ※デフォルトは全エントリ Rec 動作許可
71102	\$SyncDevBmp	仮想マスタ配下の VTR の同期制御許可指定 00000000 00000000 ※LSB=配下の VTR エントリ番号1
71200	\$ShowTime	仮想マスタ(VTR)の基準 TC 00:00:00:00
73000	\$AsnRemInp	仮想マスタへのリモート入力システムのアサイン指定 1) <u>Manual</u> (後述メニューで個別に割り当て) 2) <u>Disable</u> (リモート入力システムは使用しない) 3) x4 (物理 SIO の若番ポートから順に 4 系統自動割り当て) 4) x8 (物理 SIO の若番ポートから順に 8 系統自動割り当て)
73001	\$AsnRemOut	仮想マスタからのリモート出力システムのアサイン指定 1) <u>Manual</u> (後述メニューで個別に割り当て) 2) <u>Disable</u> (リモート出力システムは使用しない) 3) x4 (物理 SIO の若番ポートから順に 4 系統自動割り当て) 4) x8 (物理 SIO の若番ポートから順に 8 系統自動割り当て)
73101 ~ 73108	AsnRemInp-01 ~ AsnRemInp-08	仮想マスタへのリモート入力システムのアサイン (配下に置くコントローラデバイスの SIO ポートのアサイン) Unit=** Ch=** “Unit=”の設定 ** : 割り当て無し M : 自局の意 1~ : 他局ユニット ID (LINK 接続の他局) “Ch=”の設定 ** : 割り当て無し 1~ : 物理 SIO ポート番号
73201 ~ 73210	AsnRemOut-01 ~ AsnRemOut-16	仮想マスタへのリモート出力システムのアサイン (配下に置く VTR デバイスの SIO ポートのアサイン) Unit=** Ch=** “Unit=”の設定 ** : 割り当て無し M : 自局の意 1~ : 他局ユニット ID (LINK 接続の他局) “Ch=”の設定 ** : 割り当て無し 1~ : 物理 SIO ポート番号
73301 ~ 73308	CtrDist-01 ~ CtrDist-08	仮想マシンの配下のコントローラへの制御先指定 <u>VirMcn</u> 仮想マシン RemoteOut-01~16 仮想マシン配下のリモート出力システム
77000	Syc:StartCupMod	簡易同期PLAYの操作時の動作指定 1) Cueup マスターポートに CUE UP してから再生 2) Diff-Play マスターポートとの差分を計算して同時再生
77001	Syc:CueupTout	簡易同期PLAYのタイムアウト値 90Frame
77002	Syc:CupTcChkMod	簡易同期PLAYのチェックTC

		1) StartTc 2) MstrCurTc
77003	Syc:SyncChkFrm	簡易同期PLAYの同期の判定時間 10Frame
77004	Syc:RetryCnt	簡易同期PLAYのリトライ回数 3
77005	Syc:RetryChkFm	簡易同期PLAYの同期していない場合の再リトライ時間 30Frame
77006	Syc:RetryPlayMod	簡易同期PLAYのモード指定(リトライ時の動作) 1) StartTc 開始時の TC で CUE UP して再生 2) MasterCurTC マスターポートの TC に CUE UP して再生 ☆3) Diff-Play マスターポートとの差分を計算して再生
77007	Syc:RefReSyncMod	簡易同期PLAY時に、EE コマンドを使用するタイミング指定 1) Disable 動作 OFF 2) Retry MENU77006 に従い再生時に EE にする ☆3)ALL SFT+PLAY 操作を行った時に EE コマンドを送信する。
77008	Syc:RefReSyncSel	簡易同期PLAY時に、EE コマンドを使用するか否な指定 1) Disable 動作 OFF ☆2) EE/PB-Cmd MENU77007 に従いコマンドを送信
77009	Syc:CmplCheckWait	5 frame
7700A	Syc: DurPlyChkCh	1)MasterCh 2)SlaveCh

## 4. お問い合わせ

---

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

---

### **武蔵株式会社**

**TEL 03-5982-4391    FAX 03-5982-4784**

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>

---